

平成 26 年度 社会福祉法人マキバの会 事業報告

はじめに

平成 26 年度においては、利用者の健康管理について、その対応に苦慮する一年となった。一昨年から医師不足による居宅療養管理指導が受けられなくなっていたことで、本年度から通院の負担を軽減するため、沢内病院より週 1 回の訪問看護を受け入れる試みをした。約 1 年間のこの経験から医療との信頼関係を強固なものにできると感じはじめていた矢先、国の医療制度により沢内病院もそれに従って、慢性期の方は個人病院が対応することになる。

当施設も訪問看護を含め沢内病院から協立診療所へと医院の変更を余儀なくされ、医療連携を改めてスタートをしなければならない状況になった。この連携がスムーズにいかない事の不安定さがここ数年に亘り続いている。

スタッフはそのことにエネルギーを費やされるという印象の強い一年であった。しかしながら数々の困難を乗り越えて施設内外の行事を無事に終了させ、利用者に穏やかな日々を提供できた。このスタッフの頑張りを先ずは評価したいと考える。

総括

10 月に行われた、西和賀町医療介護福祉研究会における発表に向け、「重度化を防ぐための取り組み」と題し、半年間スタッフが一丸となって課題に取り組み発表を成功させることができた。それにより各関係機関から賞賛の声を聴くことができた。

一昨年に運営推進会議を年 6 回、定期的で開催したことで、平成 26 年度は第三者外部評価が免除になった。上半期は上記発表会のために力を注いでいたため、発表会に集中できる良いタイミングの免除となった。

入所の利用状況において、重度の慢性疾患を抱える利用者さんを受け入れたことで年間を通して入退院を繰り返すという状況が続いたこと、また利用者交代までの空き部屋期間が長かったなどの原因により、介護保険報酬は減収になった。

26 年度に予定した会計監査、理事会、運営推進会議、各研修、各訓練、各会議等々予定の全部を熟した。

施設整備においては、念願であったホールの薪ストーブを新しいものに交換した。燃焼効率もよく薪の節約にもつながった。

1 法人本部の状況

役員

理事 (定員 6 現員 6 : 任期 H25. 8. 7~H27. 8. 6)

理事長	坂本嘉津子
理事	児玉正彦 藤澤昇 藤原輝夫 高橋典成 須藤世志子

理事会開催状況

回	年月日	出席者数	審議事項
69回	26年5月29日	6	・平成25年度事業報告(案)について ・平成25年度決算報告(案)について
70回	26年9月2日	6	・岩手県指導監査指摘事項の報告について
71回	26年10月21日	6	・岩手県指導監査指導事項是正改善内容について
72回	26年12月9日	6	・岩手県指導監査指摘事項是正改善内容について
73回	27年3月19日	6 書面表決2	・平成27年度社会福祉法人マキバの会事業計画(案)について ・平成27年度社会福祉法人マキバの会予算(案)について

監査 (定員 2 現員 2 任期 H25.8.7~H27.8.6)

監事	高橋善紀 藤原功
----	----------

監査開催状況

決算監査	H26年5月14日実施
出納調査	H26年10月30日実施

施設運営

第二種社会福祉事業

1 認知症対応型共同生活介護 グループ・ホーム 社の家自遊舎

開設 平成 12 年 4 月 1 日

定員 9 名

利用状況

要介護度\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
要支援												
要介護 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護 2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
要介護 3	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
要介護 4			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護 5	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

介護度 3 の利用者さん 1 名は、年間を通して入退院を繰り返した。

2 共用型通所介護

開設 平成 18 年 4 月 1 日

定員 3 名

利用状況

要介護度\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
要支援												
要介護 1												
要介護 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護 3			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護 4												
要介護 5												
合計	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

新町地区と貝沢地区より、通所介護の方 2 名を受け入れ、車での送迎を行った。

運営推進会議

委員	小森一彦 高橋夕美子 内記正志 広瀬勉 岩井正敏 施設利用者と その家族 医療保険室 地域包括支援センター 施設長 職員 (1名)
----	--

開催状況

年月日	出席者数	審議内容
26年4月25日	18	・お茶会・25年度経過報告・26年度施設整備について・年間行事予定について・今年度の抱負
7月2日	10	・食中毒の予防について
8月24日	26	・納涼祭
10月22日	16	・お茶会・訪問看護業務開始から4ヶ月を経て ・福祉研究発表会を終えて
12月23日	26	・クリスマス会
27年2月27日	19	・家族アンケート集計結果について ・平成26年度経過報告

予定していた年6回を実行した。夏の納涼会、冬のクリスマス会も運営推進会議のプログラムの中で行い、趣向をこらして大勢で楽しむことができた。

研修

施設内研修（勉強会）

26年4月16日	ケアプラン作成による検討会議
5月23日	訪問看護導入のための利用者基本情報記入
6月15日	食中毒について
7月16日	スクエアステップ研修会
8月16日	価値観テスト、ヒヤリハットについての話し合い
9月18日	ケアプラン作成による検討会議
10月15日	ヒヤリハットについての話し合い
11月16日	支援経過の記入の仕方について
12月16日	クリスマス会についての話し合い
27年1月15日	ヒヤリハット表による勉強会
3月15日	介護報酬改定による制度の見直しについて

全員参加で、毎月一回実行した。

施設外研修

26年8月29日	認知症対応研修会（西和賀町）
9月25日	雇用管理責任者講習（介護労働安定センター）
10月17日	花北ブロック研修会（視察）大船渡グループホーム「後の入」
27年1月17日	地域密着型サービスに係るサービス評価地域推進会議
3月15日	介護報酬改定による制度の見直しについて

避難訓練

26年5月23日	日中訓練
26年7月26日	日中訓練
26年12月10日	夜間訓練
27年2月14日	避難・総合訓練（消防立会いで日中、夜間想定各1回ずつ）

26年度に予定した訓練を熟した。毎回反省会を行い、気付きについては反復練習をした。

資格取得

26年度は該当者なし。

以上